

慎重に設定してください。いい加減な設定は、周辺局に迷惑をかけてしまいます。

【Callsigns】 ゲートする局を指定します。ワイルドカード「*」が使用できます。

「JF*」はJFで始まる全ての局を意味します。

【ドロップダウン・リスト】

入力したそれぞれの「Callsign」に対して、ゲートするパケットの種類を選択します。

- **BEACONS** 指定した局から発信される位置情報を含むBEACON。
- **ALL** 指定した局から発信される全てのパケット。
- **Object** 指定した局が発信したObjectパケット。
- **DEST** 指定した内容を「ディスティネーション」とするすべてのパケット。
- **RECIP** 指定した局を宛先とする全てのメッセージパケット。
- **NONE** 指定した局からの全ての種類のパケットをゲートしない設定。

「Callsign」を入力してオプションを選択したのち、「Add」ボタンをクリックするか、「Enter」キーを押すことによって、リストにそれを加えることができます。

【参考】

UI-VIEW32がこのリストを参照するとき、最上行から確認を開始して条件があったところでゲートを実行します。一旦実行後はそれより下行のコールサインは照合しません。

〔例〕

JF1AJE = ALL

JF* = NONE

上記のどちらがリストの上段に記述されるかによって、動作は全く異なります。一般的には、特定のコールサイン指定の項目がワイルドカードで指定されたものより上段に記述されるべきです。記述の順番は、マウスのドラッグで変更できます。

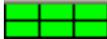
11-1.4. Inet to RF limits <図70>

このセクションは、貴局のIGATEによってAPRS-ISからRFへゲートされるパケット数の上限を定義するものです。(これを適正に設定して、RFトラフィック過多を防ぎましょう。) 上限指定は、1分、2分、3分の各期間でゲートされるパケットの最大数を定義します。2種類の設定項目があります。

- ローカル局以外の全てのパケットに対する設定
- ローカル局パケットに対する設定

(ローカル局の定義は、いくつかのデジパスまでをローカル局と定義するかの設定により、UI-VIEW内部にリストを作成しています)

UI-VIEW32をAPRS-ISに接続すると、「6つの緑の表示器」がMain Screenの地図ウインドウ最上部に現われます。

上段はローカル局以外のパケット。下段はローカル局用 

の各段のマスは、左からそれぞれの期間「1, 2, 3分」を示しています。各期間に設定したGATE数の限界を越えたなら、表示は赤に変わります。



<図70:Inet to RF Limits>

11-2. Movement Alarm <図71>

APRS is a registered trademark of Bob Bruning (WB4APR). Copyright (C) 2006 JAPRSX (JF1AJE) All right reserved.